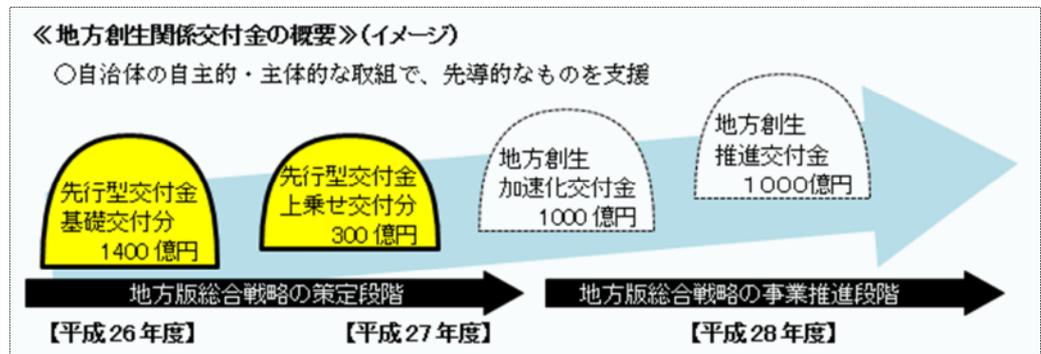


地方創生先行型交付金の活用結果について

1. 地方創生先行型交付金とは

仕事づくりなどでの地域の活性化や、各自治体における地方版総合戦略の策定を促すため、国が2014年度補正予算で1700億円分盛り込んだ交付金です。このうち、人口や財政力指数などに基づいた「基礎交付」(1400億円)と、先駆的な取り組みや地方版総合戦略に基づく「上乗せ交付」(300億円)に分けられます。



2. 交付決定された事業概要

《基礎交付分》 約3千6百万円 ※自治体規模に応じて県内すべての自治体に交付

①宮代町総合戦略策定事業

住民意識調査、策定委員会を開催(総合計画審議会)
宮代町人口ビジョン、宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定

②宮代町定住促進作戦

定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」に道仏土地区画整理特集を制作
一時保育サービスの定員を拡大、学童保育時間を拡大
道仏地区の街区公園を整備

③住民情報基幹系システム共同化事業

住民基本台帳や税、保険情報をクラウドシステム化

④多子世帯保育料軽減事業

第3子以降かつ0歳から3歳未満の児童の保育料を無料化

《上乗せ交付分》 1千万円 ※63自治体のうち採択されたのは14自治体

①みやしろに来てみよっ

観光ガイド「宮代 iLine (いいね)」、「宮代町まるわかり!ガイド&マップ」を発行

②みやしろで暮らそっ

東武鉄道沿線を対象に町をPRする電車広告を実施
町制施行60年記念事業で制作した「みやしろの歌」を活用した町PRビデオを制作

③みやしろで育もっ

「子育てひろば」において子育て講座を実施。「子育てひろば」の備品を購入